三池主婦会

※原稿送り先＝大牟田市不知火町2丁目
三池炭鉱主婦会
※電話で知らせるとき＝市内3033・7140　炭鉱・474・528
※責任者＝文教部長　下川秀子

広はんな学習など
評議員会　当面の活動方針きめる

主婦会評議員会は十八日午前十時から労働会館でひらかれました。評議員会では炭鉱闘争を勝利させるためになど当面の活動方針を審議し、またカンパ予算案を決定しました。

いま私たちは物価の値上りと合理化による減賃で主婦は内職へ追いやられるという、文字通り苦しい生活をつづけています。そして夫たちは続発する変災の中で仕事をつづけています。

国内では池田内閣は政暴法を強行しようとはかったが、国民の急速にもり上ったたたかいのために撤回論に追いこまれました。だが七月の国会では法案成立を無視したんたんとねらつています。

こういう情勢の中で、この日の評議員会では当面つぎのような活動を強力におしすすめて行くことを決定しました。

1、法廷闘争を勝利させるために

現在、刑事事件で起訴され、法廷闘争をつづけているのは一九名で、うち主婦は四四名です。これらの仲間たちの真実と、三池闘争の本質を明らかにさせるために、主婦会としては公判ごとに傍聴におしかけ、裁判所への圧力と仲間の力づけをねばりづよくつづけ、全体の大きな力でたたかいを勝利させるためにがんばります。

2、組織をつよめるために

どんな攻撃にも屈しないたけの思想をもつため、組織の統一を目標に話し合いや学習を広はんに行ない、組織点検活動として座談会や集まりをひらき、また文化活動として巡回映画を行ない、子供や年よりをふくめた交流の場とします。闘いの中でえた階級連帯をさらに拡げつよめるためオルグ要請には積極的に応じます。

3、小児マヒから子供を守るために

「子供を小児マヒから守る会」の大牟田市協議会の中でつぎの点を積極的に活動して行きます。

イ、小児マヒについての学習をふかめ、必ず全快できることに確信もつて運動を進める。

ロ、ソ連製生ワクチンの大量輸入と即時使用

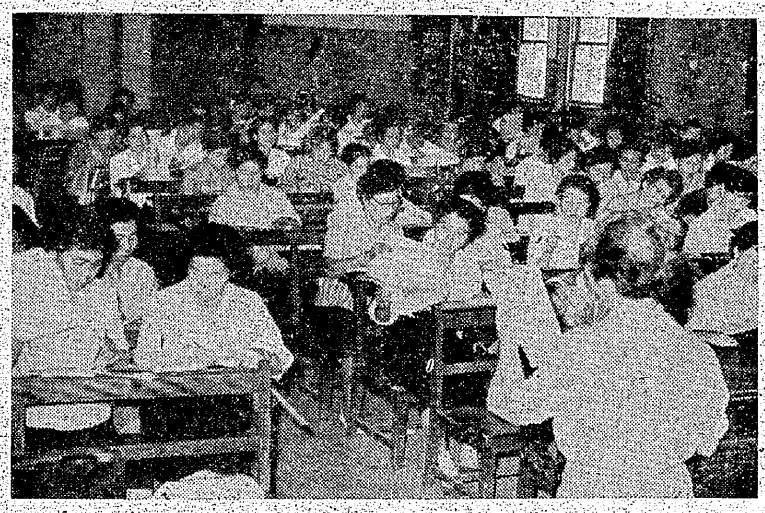
ハ、ガランタミンの大量輸入

ニ、予防、治療費の全額国庫負担

以上のような方針を決めましたが、この方針により、さつそく六月二十四日午前十時から、三川集会所で刑事事件起訴者（主婦）との懇談会をひらきます。

また、小児マヒの問題で大牟田市協議会から四名が二十二日上京し全国の代表と機関官庁へ陳情、抗議のため出発しますが、三池から福祉部長の黒木さんがその一名として出発します。

また二十三日杵島、二十九日高松へそれぞれ闘争激励（バス一台）が決定しました。



組織強化などで真剣な討議

正しい道

三川　HS夫人

人間はいつ不幸をうけるかわからない。十分注意しているつもりでも、どんなめにあうかわからないことが多いのです。私の近所でこんなことがありました。けれどもこれが本当の三池労組であり、また主婦会の底力であると思います。

去る五月、第二組合員Bの二女花子ちゃん（本名ではない）が急死した。その知らせを聞いた主婦会員は、その組の人たちぜんぶがよりあい、そして話しあつて、お悔みに行くことになりました。

第二組合であるからといえばそれまでですが、人間が不幸をうけて嘆き悲しんでいるときたからと、お悔みに行くことに意見が一致して、一同そろってB宅に行ったのです。

B夫妻は嘆の中にも喜びをみせ、お手伝いを依頼されました。

もちろん、第二組合員も町内ぜんぶの者が来ていたが、あんまり手伝いをしたがらないありさまでした。お通夜にはその組の組合員・主婦会員の全員がそろつて行かれました。翌日のお葬式にも手伝いをされたのは、いらまでもなく主婦会員でありました。

数日たつて、そのB夫人いわく「どうして脱落したろうかと思います。これから先も今まで通りよろしくお願いします」と心からいわれたそうです。義理にからんで脱落した者や、みんなと共にがんばつて来たように、今日もまた明日もさらにがんばりましょう。

B夫妻にたいして良い面のショックをあたえたと思いますし、このようなことを通じて、だんだんと復帰する人がある日も遠くはないことと思います。

人間はいつ、どこで、どんな不幸をうけるかわかりませんし誰にお世話になるかわかりません。だから常日ごろから正しい道を通つていなければならないのだと私は思います。

明日の幸せのため、明日の平和をかちとるために、いままでのつつはつた者ばかりでもなく、みんなと共にがんばつて来たように、今日もまた明日もさらにがんばりましょう。

この話の主婦会員の皆さんは

服用二回ですむ生ワクチン
小児マヒ予防薬の効用　ソーク死ワクチン
の免疫性は六、七割

小児マヒの集団発生は熊本を中心にした九州地方から山口、三重へと東上し、最近では東京にも広がり、母親を悩ませている。この現状と広がる運動の前に厚生省も「生ワクチン」使用にふみきりはしたものの現状では十分ではなく、そこで悩める母親は高価な「ソーク死ワクチン」を接種しているが、ソーク死ワクチンを接種した子が発病すると重症と死亡が多いという新事態があらわれたため、一体どうしたらいいのだという声があがつている。そこで「ソーク死ワクチン」と「生ワクチン」の効用について専門家にたずねてみた。

▽…「ソーク死ワクチン」の効用について、アメリカの小児マヒ対策を視察したもと盛岡日赤病院長の南出喜憲博士はつぎのようにいつている。「七年前はアメリカでは年間四万人近い小児マヒ患者をだしていたが、ソーク死ワクチンの大量接種で一九五八年から九年にかけては、発生数は十分の一にへつた。シカゴ市では三年前までは流行の最盛期には毎月八十人近い小児マヒ患者が発生したが、一九五九年には三人にへつた。しかし困つたことに最近の小児マヒ患者のうち、死亡したりマヒがあとに残る者が十人のうち九人もあるようになつたことだ。ソーク死ワクチンの接種前までは、死亡や後遺症の残るものはほとんどわずかで三人に二人は小児マヒにかかつても後遺症がほとんど残らなかつた」

更に生ワクチンを

▽…アメリカのこの臨床結果は、ソーク死ワクチンの接種である程度の流行は食い止められることと罹患した場合に多くの後遺症を残すことを教えているが、このことについて東大伝染病研究所第二ウイルス研究室の務台氏はつぎのように説明する。「ソーク死ワクチンを十人に接種しても免疫性を身につけられるものは六人か七人で、あとの四人か三人は接種しなかつたと同じ結果になる。ソーク死ワクチンを接種しながら小児マヒにかかるのは、免疫性をもつてなかつたからである。日本脳炎の予防接種の例であるが、予防接種をした子どもの体内に残つている日本脳炎ワクチンの作用で、発病がひどくなつた例はいくらもあるしかし、ソーク死ワクチンはしないよりはする方がよく、ソーク死ワクチンをやつた上に生ワクチンをやれば、効果はさらにある」

生涯かからぬ効力

▽…「生ワクチン」の場合はどうか。生ワクチンは二回（今年一回翌年一回）のむだけで生涯小児マヒにかからないのである。しかもマヒした筋肉神経に活力を与えて生き返らせるいきたすける働きをする。ソ連化学薬剤研究所のミカエル・マシュコフスキー薬学部長は「六百人のマヒ患者に使用したところ、いくらかよくなつたものをふくめて約八十％の治効率があつた」とのべている。しかも一場分はソ連製など輸入に使われる回合でも五円をこえることはないといわれ、しかもソ連は一億人以上の製造能力をもち、ソ連の医薬品輸出公団は「日本が必要とするだけの生ワクチンをいつでもおくろう」と申し出ており「連絡があれば一カ月以内に生ワクチンを空輸してもよい」ともつけ加えているのである。

寄せ書き旗

企業合理化に反対してたたかう高松、杵島の仲間たちに寄せ書き旗をおくろうと、十八日の主婦会評議員会では、会場の労働会館入口受付横に杵島と高松への赤旗を用意して、入場してくる評議員たちが寄せ書きをした。

この寄せ書き旗は二十三日と二十九日に主婦会が現地激励をする際、持参することになつている。

ここに団結が！
団結運動会に参加して

三川支部　主婦

六月十一月、三川支部団結大運動会がひらかれた。組合、主婦会合同大運動会である。

二、三日来の雨で心配されたお天気も、十日の午後から雨はやんだ。しかし、まだまだ厚い雲がたれさがり、顔をあわせる人ごとに「あすの運動会は、大丈夫だろうか？」と気がかけている。

九時開始で、少々早かつたので集まりを心配していたが、入場する会員さんたちを見ておどろいた。

いつの間にこれだけの人たちが集まつたのだろうと、思はず役員みんなが「うわあッ」とよろこびの声をあげた。たくましく入場するその姿は、ああさすがは三池の主婦だ。

両支部長の力強いあいさつではじまり、いよいよゲームだ。まづ「車運は誰に」で、先日の雨で中止になつた残りのゲームだ。

次々とゲームがすすむ。進行とともに大会役員の人たちは参加人員数のばくだいさに整理にあせだく、声をからし、つねにこみあげるようこびに、不幸にも分裂したとはいえ、これだけの人たち、しかも三川支部だけでもと、考えると心づよくあらたな勇気がわいた。

どんな弾圧も、差別にも切り崩しもこわくない。私たちの団結はいつそう固くむすばれると、一人ひとりがしつかと胸にだきしめたであろう。

朝から、おおいかぶさつていた重い雲は、しだいに晴れて、コバルト色の空が美しく私たちの運動会を見おろしていた。ほんとに団結の上に敵はない。

このような盛りあがりを見ると、もう一度、いやもつともつと私たちの底力を見せる、何かをしたいと思つた。そうすることによつて、固く組まれたスクラムが鉄壁のように、それが三川から富浦へ、四山へ……と結ばれ、さらに全国の仲間の力とひとつになる時労働者としての大きな力となる。権利と幸せをかちとる力、働くもの、たたかうもの、歴史をきくづもの、正しいものの誇りがふつふつとして胸にわいてきた。

若山彰とその一行
28～30日　家族慰安会ひらく

三池労組家族慰安会は六月二十八日から三十日まで大牟田市民会館で昼夜三回にわたつて、流行歌手の若山彰とその一行を招いて花やかにひらかれることとなつた。

三池労組として家族慰安会を催すことは数年来のことであり、今までは各支部ごとに趣向をこらしてやつていたのを、今回はぐつとくだけて中央から若山彰とその一行を招き、連日のはげしい差別にたたかつている組合員と台所を守つて苦しいたたかいをつづけている主婦に、心の底から笑い楽しんでもらつて、さらに団結をかため合おうというものである。

だしものは歌謡曲をはじめ奇術漫才、舞踊、曲芸、学者犬となかなかバラエティにとみ、司会は大木淳、楽団はスターラップの一行である。

若山彰は「喜びも悲しみも幾歳月」「皆春島」などのヒットソングで知られ、歌も正当派の歌手として非常に親しまれている。出演者の一行はつぎの通り。

○奇術　ローズ天勝・万華
○漫才　美波吾郎・若浪藤子
○舞踊　富士野三鈴・千鶴
○曲芸　阪東はるを・ひでを
○学者犬　マミー・上田信一
○歌謡曲　若山彰、田原茂　伊藤とも子、見玉幸子
○司会　大木淳
○楽団　スターラップ

なお、出演時間は約三時間、開演は午前十時、午後二、六時の三回。

平和大行進

七月十五日大牟田出発

第七回原水爆禁止世界大会が近づきました。

ことしも、例年のように会場の東京へ向かつて「平和大行進」がすでにつづけられています。

ことしの行進は、昨年よりさらにひろくふかく、全国民の平和の声を結集し、各階層の緊密な提携を打ち出し、いつそうの発展を目指しています。

大行進は与論島から六月二十四日に鹿児島につき、大牟田では七月十四日前夜祭、十五日船小屋むけて出発の予定です。

第二回学習

27日労働会館で

主婦会が月一回やつている学習は第一回は講師に本所支部長の塚元さんをよんでひらいたが、非常に好評でした。

今月の学習は六月二十七日午前十時から前回とおなじく労働会館でひらきます。講師もひきつづいて塚元支部長にやつてもらいます。

俳句

『円虹』定例句会

六月十八日　午後一時半
場所　発行所　松永節代

○六甲の谷新緑に三池の歌
○六甲へ集う仲間よ風かおる　布田富美枝
○入梅や旅路の友の身を案ず
○新調のレインコートや梅雨の街　中島穂子
○梅雨の日々離職の友に気をとられ
○梅雨空の心に暗く主婦の日々　中満樹勢
○踊る緑へ魂更に沸らしむ
○坑内の炭石炭にしみいて尚輝りぬ　清本はるき
○鎌の光（て）り蛙の尿にぬれて刈る
○坑内（しき）も梅雨白アリ帽灯に触れて舞ふ　木下八重子
○人がひとを裁き裁陽花七いろに
○母と子が今日も別々梅雨に入る　能勢幽女
○子がかもす強き反動雨期に入る
○初夏の充実寺院は朝の鐘鳴らす
○梅雨の静寂つづくり終えしものの中　田中未草
「政暴法」衆院を通る
○黒い金魚の逆立ち「政暴法」通る　麦秋の農婦の肌の光り保つ
○熟れ麦の匂ひ豊かな乳房の温　永野鼎衣
○職さがす運命きびしと日灼けたり
○木影よりかけ出るみんな靴白し
○失職の眠れぬ夢に雷触れし